



フリーシステムズの赤外線サーマルカメラはFossil本社のセキュリティ用カメラに選ばれています

高度なニーズに応える信頼性の高いセキュリティ用カメラ

世界中の多くの企業が、高度なセキュリティ対策としてフリーシステムズの赤外線サーマルカメラを導入しています。世界的に有名な時計メーカーFossil(フォッシル)もその中の一社です。ドイツ、グラーベンシュテッドにあるフォッシルのヨーロッパ本社ビルのセキュリティ用カメラにフリーシステムズの赤外線サーマルカメラが使用されています。「フリーシステムズの赤外線サーマルカメラは、高度なニーズに応えるソリューションです。」と新社屋のプロジェクトマネジャーであるMaximilian Wimmer氏は説明します。「しかし、赤外線サーマルカメラが直感的で分かりやすいソリューションであることの方が重要かもしれません。鮮明な熱画像上で状況をすばやく把握できる点が素晴らしいのです。」

「このビルには、フォッシル・ヨーロッパの総務部とマーケティング部のオフィススペースに加えて、世界最大のフォッシル店舗が入居しています。そのため、夜間の不法侵入、盗難、器物損害などの犯罪防止のため高度なセキュリティが必要でした。フリーシステムズの赤外線サーマルカメラを導入したのはそのためです。」

「フリーシステムズの代理店のEmtec Chiemingとは元々つきあいがあり、フリーシステムズの赤外線サーマルカメラを勧

められたことが製品購入のきっかけとなりました。」と Wimmer氏。

フリーシステムズの赤外線サーマルカメラ：高性能かつコストパフォーマンスの高いソリューション

「赤外線サーマルカメラは、高性能でコストパフォーマンスが高く、フォッシル社に最適のソリューションでした。」とEmtec ChiemingのHelmutSchmid氏は言います。「このビルには窓やドアが多く、窓にセンサーをつける方法はコストがかかり過ぎます。

赤外線サーマルカメラFLIR SR-334は詳細で高コントラストの画像を撮影でき、確実に侵入者を検知できる



侵入者を確実にとらえるコントラストの高い鮮明画像



しかし、赤外線サーマルカメラを使えば、ほんの数台設置するだけでビル全体をカバーできます。しかも、明るさにかかわらず鮮明な赤外線画像を撮影できるため、照明設置の必要もありません。」

Schmid氏は、窓センサーよりも赤外線サーマルカメラが優れている点はコスト面以外にもあると言います。赤外線サーマルカメラを映像解析ソフトと組み合わせることで、建物に被害が及ぶ前に侵入者を未然に検知できるのです。

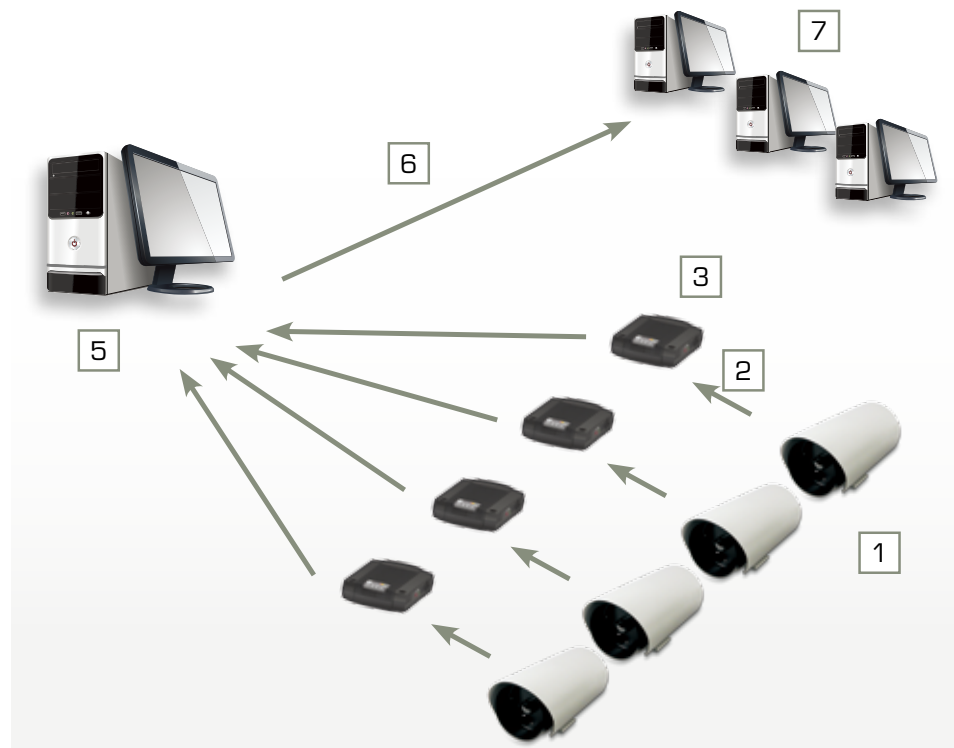
FLIR SRシリーズ

フォッシル本社ビルのセキュリティシステムは単純なものだとSchmid氏は説明します。「フォッシル本社ビルのセキュリティに使用したのは赤外線サーマルカメラFLIR SRシリーズです。この機種はアナログビデオ出力の比較的単純なインターフェースを搭載しています。カメラのアナログデータは同軸ケーブルで変換器に送られ、デジタルデータに変換されます。変換されたデジタルデータ映像解析ソフトAimetis Symphonyで解析するのです。」

フォッシル本社ビルのセキュリティシステムに採用されたモデルはFLIR SR-334です。このモデルには、解像度320 x 240ピクセルの非冷却酸化バナジウム(V0x)検出素子が搭載されています。広視野モデルで状況認識力に優れ、高コントラストの鮮明画像により、確実かつ素早く侵入者を検知できます。

自動アラーム

解析ソフトでは、撮影した赤外線画像を事前に設定したパラメーターと照合し、設定条件を満たせばアラームが作動します。「アラームが作動すると、画像がミュンヘンの管理室に転送され、何らかの措置が必要と判断されれば、管理室は地元警察に通報します。」赤外線サーマルカメラの機種も重要ですが、映像解析ソフトを正しく設定することも重要です。「どの映像解析パラメーターを使用すべきかを知っておく必要があ



(1)フリーシステムの赤外線サーマルカメラが鮮明な赤外線データを作成する。(2)アナログ信号がビデオエンコーダーに送信される。(3)ビデオエンコーダーでアナログ信号がデジタル信号に変換される。(4)デジタル信号がコンピューターに送信される。(5)コンピューター上の映像解析ソフトウェアで解析される。(6)事前設定したパラメーターとデジタルデータを照合し、パラメーターを満たさなければ、アラームが作動し、警告がミュンヘンの管理室に送信される。(7)セキュリティ担当者が直ちに赤外線画像を確認し、アラームの原因を特定する。



赤枠はアラームが作動を起こしたことを示す。左の画像では、人物が建物に近づきすぎているためにアラームが作動した。右の画像では、解析ソフトのデジタルパラメーターの範囲を超えて車が接近している。



ります。私たちはその点について研究を行い、最適な設定条件を割り出しました。」とSchmid氏。

アラームの誤作動はゼロ

「フォッシル本社ビルのセキュリティシステムに赤外線サーマルカメラを導入する前に、同じ条件で徹底的にテストを行ないました。霧や雨など、あらゆる気候条件でテストし、犬や断熱素材でできた衣服を着用した人でもテストしました。正直に申しますが、

全てのテストでアラームの誤作動は一度も起こらず、侵入者の検知ミスも一度もありませんでした。この結果は実際の現場でも確認されています。これまでにフォッシル本社に設置したフリーシステムの赤外線サーマルカメラで一度もアラームの誤作動は起きていません。」



Emtec ChiemingのHelmut Schmid氏



フォッシル本社ビルプロジェクトマネージャー
Maximilian Wimmer氏

赤外線カメラに関する情報は弊社までお気軽にお問い合わせください。:

フリーシステムズジャパン株式会社
〒141-0021
東京都品川区上大崎2-13-17
目黒東急ビル5F
電話 : 03-6721-6648
Fax : 03-6721-7946
e-mail : info@flir.jp
www.flir.com